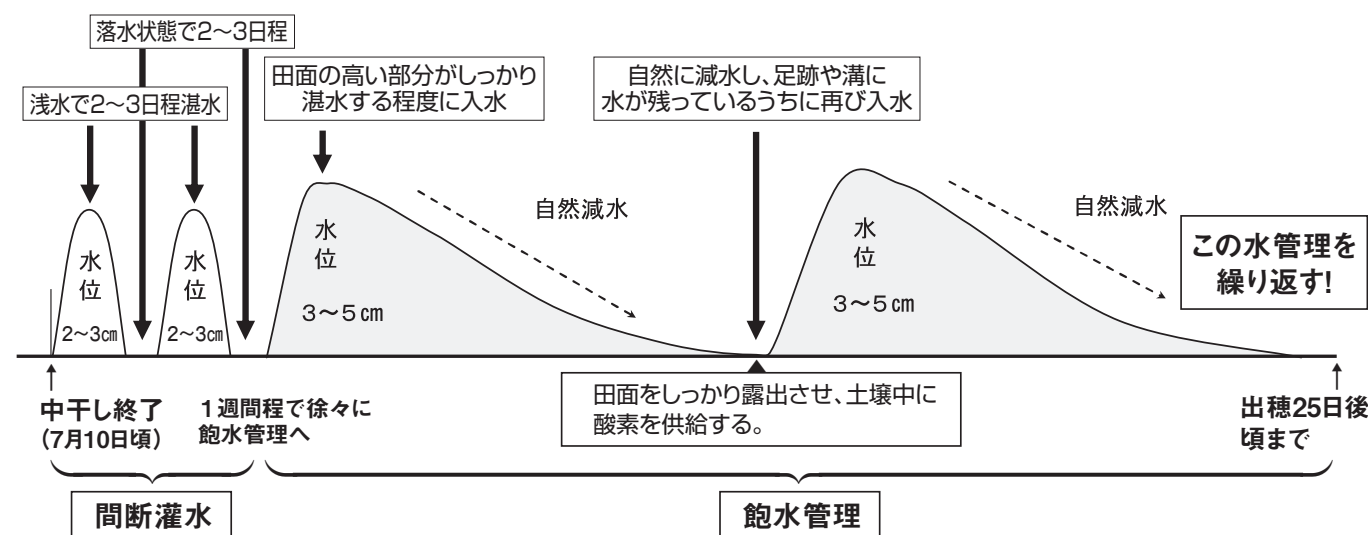


中干し終了後は稲体の活力維持のための水管理！

中干しは遅くとも出穂期 30 日前頃（7 月 10 日頃）までに終了し、中干し直後は浅水の
 間断灌水から徐々に飽水管理へ移行しましょう。

- 間断灌水**とは…浅く水を溜めた状態と落水状態を 2～3 日間隔で繰り返す。
- 飽水管理**とは…「水尻を止めて水を溜め、自然に減ったら入水」を繰り返す。

【水管理のイメージ図】



- 新鮮な水の供給→稲体の活力維持！
- 適度に田面を露出させ土壌中に酸素を供給→うわ根の発生促進、根の健全化！
- ◆長期間の湛水状態は、根の酸素不足により根腐れや下位葉の枯れ上がりにつながります。
- ◆飽水管理は登熟後期まで実施しましょう。

水は限りある資源です。用水は効率的に使用してください。

～水の確保が困難な地域～

上記の水管理が困難な地域では、できるだけ排水はせず、梅雨期の降雨を溜めるように
 しましょう。

溝切りを必ず実施しましょう。

少量の水でも圃場全体に効率よく回るように溝切りを必ず実施しましょう。
 ※用水の確保が見込める地域でも溝切りを実施し、譲り合いの気持ちで
 水管理を行いましょう。

○生育状況（6月20日現在）

調査内容	今年	前年	指標値	前年比	指標値比
草丈 (cm)	42.2	33.9	35.0	125%	121%
茎数 (本/坪)	1318.5	871.1	920.0	151%	143%
葉数 (枚)	8.7	7.7	7.5	113%	116%
葉色 (SPAD 値)	42.4	39.0	38.0	109%	111%

※管内の調査圃場 12 点の平均値、平均田植日 5 月 20 日

－6/20 現在の生育－
 指標値に比べ
 ○草丈 … 「長い」
 ○茎数 … 「多い」
 ○葉色 … 「濃い」
 ○葉数 … 「多い」
 平年より生育が早ま
 っています。今後の
 天候に注視し、適期
 作業に努めましょう。

一斉草刈り週間 ～カメムシからお米を守るために～ 7月9日(土)～7月18日(月・祝)

地域全体で一斉に草刈りを行い、効率的にカメムシの生息密度を減らして
 大切なお米を守りましょう！

刈り草は用水路や河川には流さないでください

刈り草が用水路や河川に流れると、下流の取水や漁業関係者等に迷惑をかけてしまいます。
 刈り草は、適切な処理をお願いします。

○病害虫防除

●いもち病

穂いもち病への移行を防ぐために、こまめに圃場に足を運び、葉いもち病の早期発見・
 早期防除に努めてください。

薬剤名	散布量 /10a	散布時期	注意事項
フジワン粒剤	3～5kg	葉いもち：初発 7～10 日前 穂いもち：出穂 10～30 日前 ※但し収穫 30 日前まで	・湛水状態を 2～3 日保つ ・葉が濡れている状態での 散布は避ける

●稲こうじ病

穂ばらみ期～出穂期にかけて低温・多雨が続きと多発生しやすくなります。また、前年度
 多発生した圃場では薬剤による予防防除に努めましょう。

薬剤名	散布量 /10a	散布時期
撒粉ボルドー粉剤 DL	3～4kg	出穂期 20～10 日前 ※但し出穂 10 日前まで
ラテラ粉剤 DL	3～4kg	出穂期 12～8 日前 ※但し収穫 14 日前まで

- ・葉が濡れている状態や高温時の散布は、葉害が出る場合があるため避けましょう。
- ・稲こうじ病が発生してから農薬を散布しても効果はありません。

●紋枯病

梅雨の温度が高く、また高温が続く気象条件・過繁茂の圃場・前年度多発生した
 圃場では発生しやすくなります。

薬剤名	散布量 /10a	散布時期
バリダシン粉剤 DL	3～4kg	出穂期 10 日前頃～出穂期直前 ※但し収穫 14 日前まで
バリダシン液剤 5	1000 倍液を 60～150 ℓ	

○穂肥

穂肥は米の実りを左右する重要な作業です。登熟後期まで栄養を確保することで品質向上に努めましょう！

【穂肥の施肥時期と施肥量の目安】

肥料名	成分 (%)			1回目(出穂前 15～12日)		2回目(出穂前 7～5日)	
	N	P	K	幼穂長	施肥量	幼穂長	施肥量
有機 30 魚沼口マン 穂肥専用	12	4	10	約2～6cm	9～13kg	約18～20cm	9～13kg
魚沼口マン 有機穂肥	10	4	12	約2cm	10～15kg	約18cm	10～15kg
アグリフラッシュ	14	14	14	約6cm	7～10kg	約20cm	7～10kg

【穂肥の目的】

穂肥	施肥時期	施肥のポイント	目的
1回目	出穂前 15～12日頃	草丈、葉色を加味し、生育状況に合わせて施肥時期、施肥量を調節しましょう。 (場合によっては施肥を見送る)	有効茎歩合の向上！ 籾数の確保！
2回目	出穂前 7～5日頃	後期栄養確保のために必ず施肥しましょう。 稈の強度を高め倒伏軽減につながります。	登熟の向上！ 千粒重の増大！

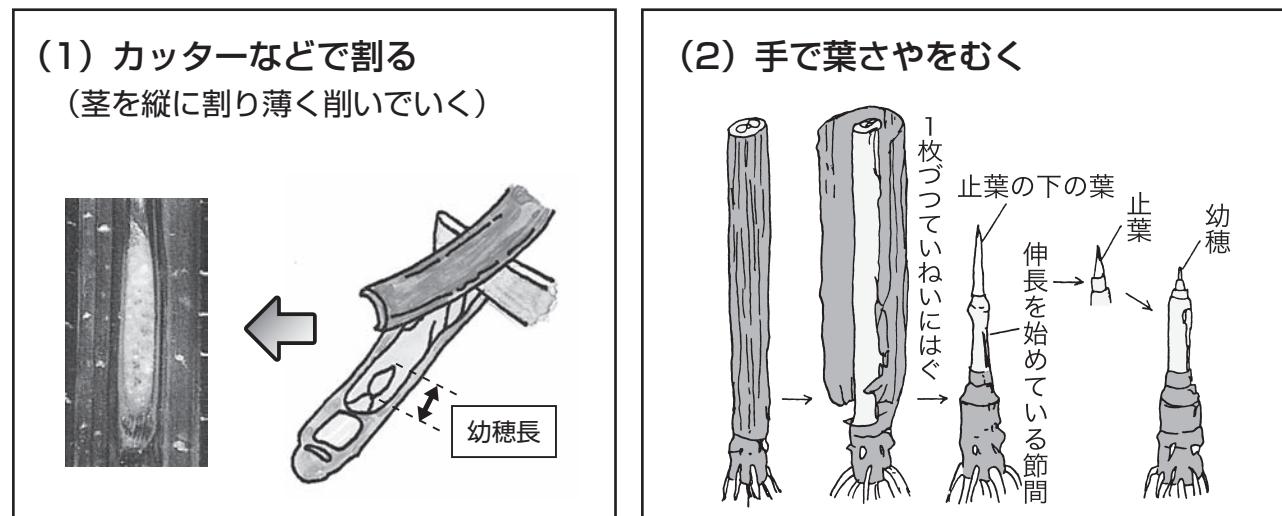
○幼穂長による出穂期前日数

幼穂の長さで出穂前日数を判断しましょう。

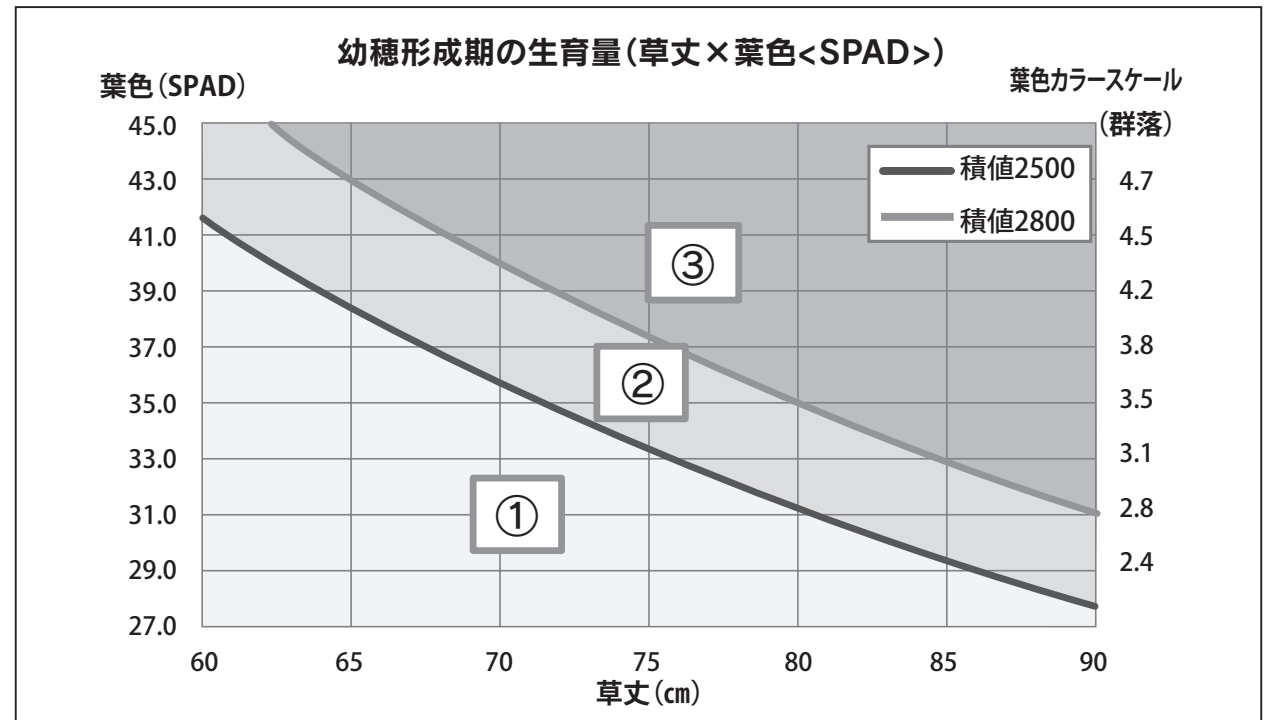
幼穂長	0.02cm	0.1cm	0.2～0.4cm	0.5～1.0cm	4.0～6.0cm	8.0cm
出穂前日数	30日前	24日前	20日前	18日前	12日前	10日前

【幼穂の確認方法】

- 圃場内の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っこから採取する。(3～5か所から採取)
- カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。



○稲姿による1回目穂肥の判断(幼穂形成期:幼穂長1mm時)



●グラフのエリアと1か月予報を踏まえて、下表を参考に穂肥を施用しましょう

幼穂形成期の生育量 (草丈cm × SPAD 値)	グラフの エリア	幼穂伸長期間の気象予報別の穂肥対応		
		低温・少照・多雨	平年並	高温・多照・少雨
2500 未満	①	○△	◎	◎
2500 以上 2800 未満	②	×	△×	○
2800 以上	③	×	×	△×

◎：出穂 15 日前に基準量を施用 ○：出穂 12 日前に基準量を施用
△：天気予報や葉色の推移等を考慮し判断 ×：施用しない

～ JA 水稻苗をご購入の皆様へ～

JA 水稻苗をご購入いただき、ありがとうございました。まだ苗箱を返却されていない方につきましては、至急返却をお願いします。

○返却の際は、苗箱を洗い 10 枚ごとに縛って指定の場所※までお持ちください。

※六日町地域の方：六日町カントリー、大和地域の方：大和育苗センター

穂肥指導会 のご案内

開催日 7月13日(水)、14日(木)、15日(金)

時間 朝6時～、夕方6時30分～

○会場などの詳細は別紙の「穂肥指導会のご案内」をご確認ください。

携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp



または、右記 QR コードをご利用ください。➔

ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課 (TEL777-3786) までお問い合わせください。